

# エコ・へるす

〇〇●● 長野県環境保全研究所ニュース 平成27年(2015年)3月10日発行 ●●〇〇  
 安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415  
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929  
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> Email: kanken@pref.nagano.lg.jp

最近の  
話題

## 今シーズンのインフルエンザの特徴と予防について

インフルエンザは、毎年冬季に流行する呼吸器感染症です。38℃以上の急な発熱、頭痛、関節痛・筋肉痛、全身倦怠感などの全身症状が強いことが特徴で、咳や鼻汁などの上気道炎症状もみられます。通常は1週間ほどで回復しますが、肺炎や脳炎・脳症などの重篤な合併症を起こすこともあるので注意が必要です。流行を起こすインフルエンザウイルスにはA型とB型があり、A型ウイルスはウイルス表面にある赤血球凝集素(HA)とノイラミニダーゼ(NA)という2種類の突起の型の組み合わせによって抗原性の異なる亜型に分類されます。

研究所では、感染症の発生動向調査の一環として、県内の医療機関で採取された患者検体からインフルエンザウイルスを分離・検出し、流行している型を調べています。今シーズン(2014/15シーズン・2015年2月20日現在)はA型(AH3亜型いわゆるA香港型)132検体(97%)、B型4検体(3%)を分離・検出しており、昨シーズン(2013/14シーズン)の分離・検出状況との比較を図1に示します。

このように、ヒトに流行するインフルエンザウイルスには複数の型、亜型が存在し、シーズン毎に流行する型や亜型は変化します。当所では、ウイルスの遺伝子を検出する遺伝子検査法などにより、型や亜型の型別だけでなくウイルスの遺伝子変異や薬剤耐性等の検査も行っています。年々変化するウイルスの動向を調査し続けることは、今後の流行の予測や有効なワクチンの選定、さらには大流行の恐れがある新型インフルエンザの監視などに役立っています。



写真 遺伝子検査の様子

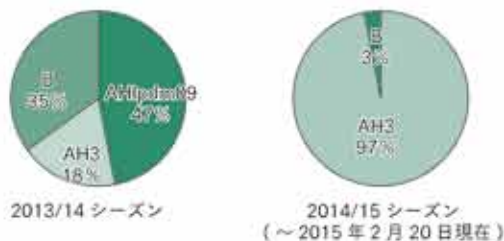


図1 長野県内のインフルエンザウイルス分離・検出状況

インフルエンザの流行期は誰もが感染する可能性があります。インフルエンザにかからないようにするために、うがい・手洗い、マスクの着用、室内の加湿と換気、ワクチン接種、体調管理等を心がけましょう。「かからない」、「うつさない」ように十分注意し、感染拡大防止に努めましょう。

(嶋崎 真実 kanken-kansen@pref.nagano.lg.jp)

目次

- ・最近の話題「今シーズンのインフルエンザの特徴と予防について」・・・1
- ・トピックス「有害大気汚染物質のモニタリングについて」・・・2
- ・トピックス「食肉中の残留農薬等の検査について」・・・3
- ・報告「アンケート調査結果」・・・4
- ・お知らせ「山と自然のサイエンスカフェ@信州を新年度も開催！」・・・4

しあわせ  
信州